

令和3年度病床機能報告の定量基準分析結果について

定量基準分析（埼玉方式）のあゆみ

平成29年度

- 7月 委託業者の公募・業者決定（みずほ情報総研）
- 8月～10月 データ分析方針の検討
- 11月・2月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析方針説明・中間報告・意見聴取

平成30年度

- 4月 「埼玉県地域医療構想推進会議」での分析結果報告・意見聴取
- 5月 厚労省主催「地域医療構想に関するワーキンググループ」で事例発表
- 6月 厚労省主催「都道府県医療政策研修」で事例発表
- 8月 「地域医療構想調整会議の活性化のための地域の実情に応じた定量的な基準の導入について」通知 ※厚労省が各都道府県に埼玉方式の分析ツールを提供

令和元年度

- 2～3月 平成30年度診療報酬改定を踏まえた分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和2年度

- 2～3月 分析業務の委託（みずほ情報総研）

令和4年度

- 1～3月 分析業務の委託（みずほリサーチ&テクノロジーズ）

※令和3年度は病床機能報告様式2の報告が実施されず、分析の元データが得られなかったため実施していない。

埼玉県病床機能報告定量基準分析の枠組み

- 「ICU→高度急性期」「回復期リハ病棟→回復期」「療養病棟→慢性期」など、**どの医療機能と見なすのかが明らかな入院料の病棟**は、当該医療機能として扱う。
- 特定の医療機能と結びついていない**一般病棟・有床診療所の一般病床・地域包括ケア病棟（周産期・小児以外）**を対象に、具体的な機能の内容に応じて客観的に設定した**区分線1・区分線2**によって、高度急性期/急性期/回復期を区分する。
- 特殊性の強い周産期・小児・緩和ケアは切り分けて考える。

切り分け

4 機能	大区分					
	主に成人		周産期	小児		緩和ケア
高度急性期	救命救急 ICU SCU HCU	一般病棟 有床診療所の一般病床 地域包括ケア病棟	MFICU NICU GCU	PICU	小児入院医療 管理料1	
急性期			産科の一般病棟 産科の有床診療所	小児入院医療管理料2,3 小児科の急性期一般入院料1 小児科の一般病棟7:1		緩和ケア病棟 (放射線治療あり)
回復期	回復期 リハビリ病棟			小児入院医療管理料4,5 小児科の急性期一般入院料1 一般病棟7:1以外 小児科の有床診療所		
慢性期	療養病棟 特殊疾患病棟 障害者施設等					緩和ケア病棟 (放射線治療なし)

具体的な機能に応じて区分線を引く

機能区分基準の考え方

- ① 病床機能報告のうち、主に「具体的な医療の内容に関する項目」のデータの中から、外科的治療・内科的治療・全身管理等の幅広い診療内容を加味して基準を構成。
- ② 区分線 1 のしきい値は、救命救急入院料やICUの大半が、高度急性期に区分される程度とする。
- ③ 区分線 2 のしきい値は、急性期一般入院料 1 の大半が、高度急性期・急性期に区分される程度とする。
- ④ 区分線 1・2 を設定した結果、高度急性期・急性期・回復期の 1 日あたり入院患者数が、「埼玉県地域医療構想における現在（2013年）の需要推計」との間に大きな齟齬がないか確認する。

ただし、実際には各病棟にはさまざまな病期の患者が混在する中で、病棟単位での集計結果に応じて区分するため、ある病棟が、わずかな機能の差によって、「急性期の病棟」に区分されたり「回復期の病棟」に区分されたりし、それに応じて「急性期の病棟の病床数」も大きく変わる。
区分線には「絶対の閾値」があるわけではなく、ある程度の幅をもたせて考えることが必要。

高度急性期・急性期の区分（区分線1）の指標

○救命救急やICU等で特に多く提供されている医療

- A：【手術】全身麻酔下手術
- B：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- C：【がん】悪性腫瘍手術
- D：【脳卒中】超急性期脳卒中加算
- E：【脳卒中】脳血管内手術
- F：【心血管疾患】経皮的冠動脈形成術（※）
- G：【救急】救急搬送診療料
- H：【救急】救急医療に係る諸項目（☆）
- I：【救急】重症患者への対応に係る諸項目（☆）
- J：【全身管理】全身管理への対応に係る諸項目（☆）

※...診療報酬上の入院料ではなくデータから特定がしにくいCCUへの置き換えができなかったこと、経皮的冠動脈形成術の算定が一般病棟7:1よりもICU等に集中していることによる。

☆...機能報告のデータ項目のうち、救命救急やICU等で算定が集中しているものに限定。

→ これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線1で高度急性期に分類される病棟の割合（令和3年度報告）

区分線1で高度急性期に分類する要件		しきい値		該当する病棟の割合				
		最大使用病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	救命・ICU・SCU・HCU	急性期一般病棟1,一般病棟7:1(※)	左記以外の病院一般病棟(※)	有床診の一般病床(※)	地域包括ケア病棟
手術	A 全身麻酔下手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	35.3%	2.1%	1.8%	3.0%	0.0%
	B 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	17.6%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%
がん	C 悪性腫瘍手術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	20.6%	3.2%	0.0%	0.8%	0.0%
脳卒中	D 超急性期脳卒中加算	あり	あり	18.6%	0.8%	0.0%	0.0%	算定不可
	E 脳血管内手術	あり	あり	28.4%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%
心血管疾患	F 経皮的冠動脈形成術	0.5回/月・床以上	20回/月以上	19.6%	1.3%	0.6%	0.8%	0.0%
救急	G 救急搬送診療料	あり	あり	9.8%	2.4%	0.0%	0.0%	算定不可
	H 救急医療に係る諸項目（下記の合計） ・救命のための気管内挿管 ・体表面・食道ペースティング法 ・非開胸的心マッサージ ・カウンターショック ・心膜穿刺 ・食道圧迫止血チューブ挿入法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	52.9%	2.1%	1.8%	2.3%	0.0%
	I 重症患者への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的肺動脈圧測定 ・持続緩徐式血液濾過 ・大動脈バルーンポンピング法 ・経皮的心肺補助法 ・人工心臓 ・頭蓋内圧持続測定(3時間超) ・人工心肺 ・血漿交換療法 ・吸着式血液浄化法 ・血球成分除去療法	0.2回/月・床以上	8回/月以上	42.2%	1.3%	1.2%	0.0%	0.0%
全身管理	J 全身管理への対応に係る諸項目（下記の合計） ・観血的動脈圧測定(1時間超) ・ドレーン法 ・胸腔穿刺 ・人工呼吸(5時間超)	8.0回/月・床以上	320回/月以上	47.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
上記A～Jのうち1つ以上を満たす				68.6%	14.1%	5.9%	6.8%	0.0%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

急性期・回復期の区分（区分線2）の指標

○急性期一般入院料1（従前の一般病棟7:1）にて多く提供されている医療

- K：【手術】手術
- L：【手術】胸腔鏡・腹腔鏡下手術
- M：【がん】放射線治療
- N：【がん】化学療法
- O：【救急】救急搬送による予定外の入院

○一般病棟や地域包括ケア病棟で共通して用いられている指標

■ P：【重症度、医療・看護必要度】

基準（「A得点2点以上かつB得点3点以上」「B14又はB15に該当する患者であって、A得点が1点以上かつB得点が3点以上」「A得点3点以上」「C得点1点以上」）を満たす患者割合

→これらの医療内容に関する稼働病床数当たりの算定回数を指標に用い、しきい値を設定。

区分線2で急性期に分類される病棟の割合（令和3年度報告）

区分線2で急性期に分類する要件		しきい値		該当する病棟の割合				
		最大使用病床1床当たりの月間の回数	40床の病棟に換算した場合	急性期一般病棟1, 一般病棟7:1 (※)	急性期一般病棟2-7, 一般病棟10:1 (※)	その他一般病棟 (※)	有床診の一般病床 (※)	地域包括ケア病棟
手術	K 手術	2.0回/月・床以上	80回/月以上	8.5%	3.5%	3.5%	23.5%	0.0%
	L 胸腔鏡・腹腔鏡下手術	0.1回/月・床以上	4回/月以上	21.0%	14.2%	0.0%	0.8%	0.0%
がん	M 放射線治療 (レプト枚数)	0.1枚/月・床以上	4枚/月以上	11.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	N 化学療法 (日数)	1.0日/月・床以上	40日/月以上	15.2%	1.8%	0.0%	0.8%	0.0%
救急	O 予定外の救急医療入院の人数	10人/年・床以上	33.3人/月以上	17.8%	10.6%	1.8%	0.0%	3.1%
重症度等	P 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度を満たす患者割合	I:31%以上 II:29%以上		68.9%	38.1%	7.0%	0.0%	6.3%
上記K～Pのうち1つ以上を満たす				79.8%	47.8%	12.3%	23.5%	9.4%

※…主たる診療科が産科・産婦人科・小児科・小児外科であるものを除く。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

4機能区分別の病床稼働率について、「(国の基準による)地域医療構想における想定%」と「今回の区分結果の%」との比較表示をしている。

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	101病棟	710人/日	1,236床	55.2%	4.4日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	72病棟	2,062人/日	2,646床	78.4%	9.6日	
		急性期	320病棟	10,431人/日	13,581床	76.3%	12.0日	
		回復期	223病棟	5,889人/日	8,678床	69.0%	19.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	83病棟	3,451人/日	3,953床	87.5%	67.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	64病棟	2,553人/日	3,005床	83.8%	104.2日	
	医療療養病床	慢性期	170病棟	7,211人/日	7,788床	89.6%	229.8日	
	介護療養病床	慢性期	6病棟	243人/日	292床	83.4%	224.6日	
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	29病棟	290人/日	457床	67.9%	15.4日	
	産科の一般病床	急性期	78病棟	1,245人/日	1,948床	71.3%	6.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	14病棟	259人/日	398床	65.2%	6.5日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	16病棟	229人/日	492床	46.4%	6.3日	
		回復期	2病棟	19人/日	34床	59.9%	5.8日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	3病棟	53人/日	71床	74.5%	19.0日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	16病棟	229人/日	369床	58.3%	22.7日	
その他	不明	不明/休棟	119病棟	2,579人/日	3,987床	64.3%	15.7日	
	休棟・休床中	不明/休棟	47病棟	156人/日	980床	5.5%	10.2日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,322人/日	75.0%	70.4%
急性期	11,958人/日	78.0%	74.7%
回復期	9,359人/日	90.0%	75.1%
慢性期	10,237人/日	92.0%	86.8%
不明	2,735人/日	—	52.9%
合計	37,610人/日	—	74.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	87.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	77.1%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	65.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	77.5%
うち産科・小児科を除く有床診療所	49.8%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	59.9%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	216病棟	3,322人/日	4,737床	6,219床	5,528床	70.4%	7.7日
急性期 計	417病棟	11,958人/日	16,092床	24,406床	17,954床	74.7%	10.7日
回復期 計	308病棟	9,359人/日	12,665床	6,092床	16,717床	75.1%	27.2日
慢性期 計	256病棟	10,237人/日	11,454床	12,218床	14,011床	86.8%	150.4日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	166病棟	2,735人/日	4,967床	980床☆	—	52.9%	15.6日
全体	1,363病棟	37,610人/日	49,915床	49,915床	54,210床	74.6%	16.7日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	304床
急性期	2,797床
回復期	248床
慢性期	638床
休棟中・無回答	980床
	4,967床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定できないもの。
 ☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの
 *「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退棟患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

4機能区分別の病床数について、「今回の区分結果」「病床機能報告」「地域医療構想の必要病床数」の3つを比較表示。

回復期については、入院料や診療科の種類によって、より細分化する形で、病床稼働率を表示。

(参考) 令和元年度病床機能報告 定量基準分析結果【埼玉県全体】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	95病棟	661人/日	914床	71.8%	3.7日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	67病棟	2,203人/日	2,616床	84.2%	10.2日	
		急性期	371病棟	12,740人/日	15,716床	80.9%	12.2日	
		回復期	266病棟	7,122人/日	10,009床	72.3%	17.2日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	79病棟	3,305人/日	3,692床	88.9%	67.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	66病棟	2,664人/日	3,073床	86.8%	107.1日	
	医療療養病床	慢性期	183病棟	7,656人/日	8,684床	89.2%	211.4日	
介護療養病床	慢性期	9病棟	410人/日	471床	86.4%	242.7日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	27病棟	278人/日	423床	67.8%	14.8日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
	産科の一般病床	急性期	85病棟	1,446人/日	2,116床	75.7%	6.4日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	14病棟	332人/日	415床	80.1%	6.9日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		急性期	16病棟	276人/日	508床	57.2%	5.7日	
		回復期	3病棟	30人/日	72床	42.2%	6.6日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	3病棟	50人/日	61床	82.1%	22.5日	
		慢性期	12病棟	184人/日	257床	69.2%	23.8日	
その他	不明	不明/休棟	33病棟	236人/日	592床	40.5%	18.5日	
	休棟・休床中	不明/休棟	45病棟	48人/日	993床	5.0%	19.1日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	3,474人/日	75.0%	79.9%
急性期	14,511人/日	78.0%	79.8%
回復期	10,457人/日	90.0%	76.8%
慢性期	10,914人/日	92.0%	88.2%
不明	284人/日	—	17.6%
合計	39,640人/日	—	79.0%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	88.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	82.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	67.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	71.4%
うち産科・小児科を除く有床診療所	56.7%
うち小児科の一般病棟・有床診療所	42.2%

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	203病棟	3,474人/日	4,368床	6,238床	5,528床	79.9%	7.6日
急性期 計	475病棟	14,511人/日	18,401床	24,763床	17,954床	79.8%	11.0日
回復期 計	348病棟	10,457人/日	13,773床	5,739床	16,717床	76.8%	22.6日
慢性期 計	270病棟	10,914人/日	12,485床	12,874床	14,011床	88.2%	159.3日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	78病棟	284人/日	1,585床	998床☆	—	17.6%	18.6日
全体	1,374病棟	39,640人/日	50,612床	50,612床	54,210床	79.0%	16.9日

4機能区分	入院料に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	293床
回復期	162床
慢性期	132床
休棟中・無回答	998床
	1,585床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【南部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率	平均在棟日数	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	9病棟	50人/日	88床	51.0%	3.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	5病棟	94人/日	164床	76.8%	13.4日	
		急性期	35病棟	1,245人/日	1,634床	74.6%	11.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	24病棟	704人/日	969床	70.3%	18.2日	
		回復期	8病棟	348人/日	373床	93.4%	61.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病棟	56人/日	75床	74.2%	52.2日	
	医療療養病床	慢性期	13病棟	455人/日	576床	86.0%	156.8日	
介護療養病床	慢性期	3病棟	126人/日	147床	85.7%	339.5日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	4病棟	30人/日	42床	70.2%	15.6日	
	産科の一般病床	急性期	9病棟	189人/日	260床	75.4%	5.9日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	1病棟	14人/日	28床	50.0%	5.2日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	15人/日	50床	29.4%	4.0日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	2病棟	24人/日	42床	57.1%	18.3日	
その他	不明	不明/休棟	2病棟	26人/日	38床	67.1%	9.0日	
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	0人/日	37床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	188人/日	75.0%	65.5%
急性期	1,448人/日	78.0%	73.4%
回復期	1,052人/日	90.0%	77.0%
慢性期	661人/日	92.0%	82.9%
不明	26人/日	—	34.0%
合計	3,375人/日	—	74.9%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		93.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		74.5%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		60.7%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		91.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所		69.2%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	19病棟	188人/日	322床	354床	609床	65.5%	7.2日
急性期 計	46病棟	1,448人/日	1,944床	2,786床	1,922床	73.4%	10.2日
回復期 計	32病棟	1,052人/日	1,342床	511床	1,623床	77.0%	24.2日
慢性期 計	20病棟	661人/日	840床	835床	871床	82.9%	113.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	6病棟	26人/日	75床	37床☆		34.0%	9.0日
全体	123病棟	3,375人/日	4,523床	4,523床	5,025床	74.9%	15.3日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	38床
急性期	0床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	37床
	75床

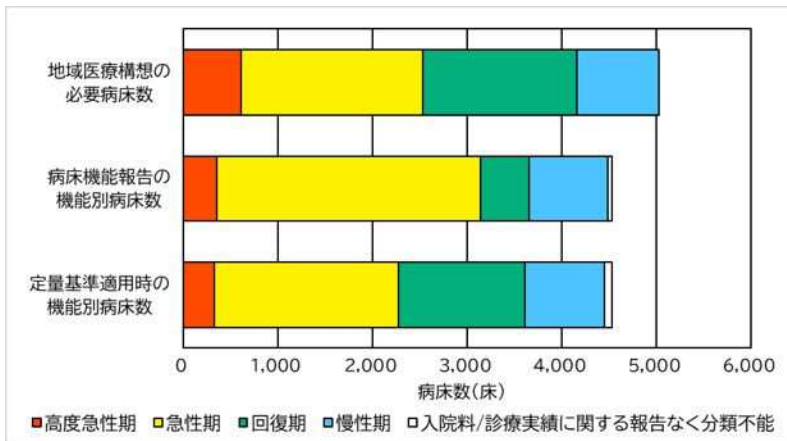
※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】

- 現在の病床数は、2025年における必要病床数を下回っており、一層の病床確保が課題ではないか。
- 一方、4機能区分ともに、病床稼働率が、地域医療構想における想定病床稼働率を下回っており、特に回復期について乖離が著しい（但し、新型コロナウイルス対応のために、平時と異なる患者受入状況となっている可能性に留意が必要）。
- 一方、回復期中でも、回復期リハビリテーション病棟の数と稼働率は、2018年：6病棟262床、稼働率96.4%、2019年：7病棟302床、稼働率78.2%、2020年度：8病棟373床、稼働率93.4%となっており、増床が続く中でも、逼迫が生じているのではないか。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【南西部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	14病棟	57人/日	130床	44.0%	4.2日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病棟	188人/日	211床	85.8%	9.5日	
		急性期	31病棟	1,131人/日	1,394床	81.2%	12.7日	
		回復期	24病棟	640人/日	907床	68.3%	21.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	7病棟	277人/日	296床	93.5%	73.2日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	11病棟	423人/日	475床	91.7%	73.9日	
	医療療養病床	慢性期	15病棟	611人/日	650床	94.3%	291.5日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	3病棟	16人/日	30床	54.4%	15.4日	
	産科の一般病棟	急性期	6病棟	98人/日	143床	69.1%	5.3日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	36人/日	85床	41.8%	6.0日	
		回復期	1病棟	19人/日	32床	59.9%	5.8日	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	3病棟	83人/日	99床	86.0%	24.9日	
その他	不明	不明/休棟	7病棟	116人/日	147床	80.4%	24.4日	
	休棟・休床中	不明/休棟	1病棟	0人/日	5床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	261人/日	75.0%	64.0%
急性期	1,264人/日	78.0%	77.8%
回復期	936人/日	90.0%	74.8%
慢性期	1,117人/日	92.0%	93.0%
不明	116人/日	—	77.5%
合計	3,694人/日	—	78.8%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		93.5%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		52.0%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		78.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		72.2%
うち産科・小児科を除く有床診療所		29.7%
うち小児科の一般病棟・有床診		59.9%

4機能ごとに集計

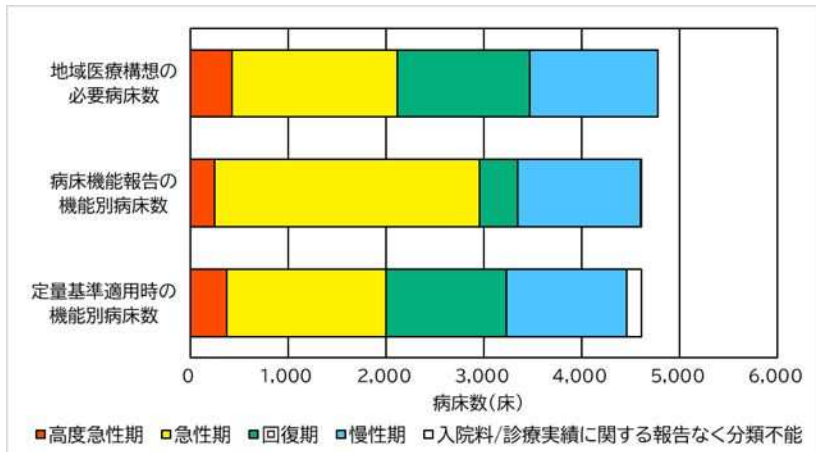
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	23病棟	261人/日	371床	244床	425床	64.0%	7.0日
急性期 計	39病棟	1,264人/日	1,622床	2,706床	1,685床	77.8%	11.0日
回復期 計	32病棟	936人/日	1,235床	394床	1,356床	74.8%	25.8日
慢性期 計	29病棟	1,117人/日	1,224床	1,255床	1,311床	93.0%	117.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	116人/日	152床	5床☆		77.5%	24.4日
全体	131病棟	3,694人/日	4,604床	4,604床	4,777床	78.8%	17.1日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	123床
回復期	24床
慢性期	0床
休棟中・無回答	5床
	152床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

・急性期・慢性期の病床稼働率はおおむね地域医療構想における想定水準であるが、回復期の病床稼働率は74.8%であり、地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低く、回復期リハビリテーション病棟以外でそれが顕著である。回復期リハビリテーション以外の回復期の病床の稼働率の向上が課題ではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【東部圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	13病棟	76人/日	142床	38.8%	3.8日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	14病棟	410人/日	539床	76.0%	10.8日	
		急性期	49病棟	1,550人/日	2,072床	74.5%	11.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	25病棟	603人/日	938床	67.2%	18.9日	
		回復期	16病棟	724人/日	804床	90.3%	74.7日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	16病棟	634人/日	729床	88.5%	114.5日	
	医療療養病床	慢性期	19病棟	1,103人/日	885床	86.3%	275.5日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	6病棟	24人/日	58床	63.4%	11.4日	
	産科の一般病床	急性期	12病棟	204人/日	264床	85.4%	5.7日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	3病棟	73人/日	117床	62.4%	7.1日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	5病棟	49人/日	109床	44.7%	20.9日	
その他	不明	不明/休棟	24病棟	471人/日	812床	59.7%	14.8日	
	休棟・休床中	不明/休棟	7病棟	0人/日	168床	0.1%	5.0日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	509人/日	75.0%	70.6%
急性期	1,827人/日	78.0%	74.9%
回復期	1,327人/日	90.0%	77.9%
慢性期	1,786人/日	92.0%	83.9%
不明	471人/日	—	49.2%
合計	5,919人/日	—	73.3%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	90.3%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	78.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	60.8%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	73.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所	62.1%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	33病棟	509人/日	739床	212床	831床	70.6%	9.5日
急性期 計	64病棟	1,827人/日	2,453床	4,530床	2,783床	74.9%	10.4日
回復期 計	41病棟	1,327人/日	1,742床	1,043床	2,734床	77.9%	31.7日
慢性期 計	40病棟	1,786人/日	1,723床	1,684床	2,587床	83.9%	126.6日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	31病棟	471人/日	980床	168床☆	168床	49.2%	14.7日
全体	209病棟	5,919人/日	7,637床	7,637床	8,935床	73.3%	16.8日

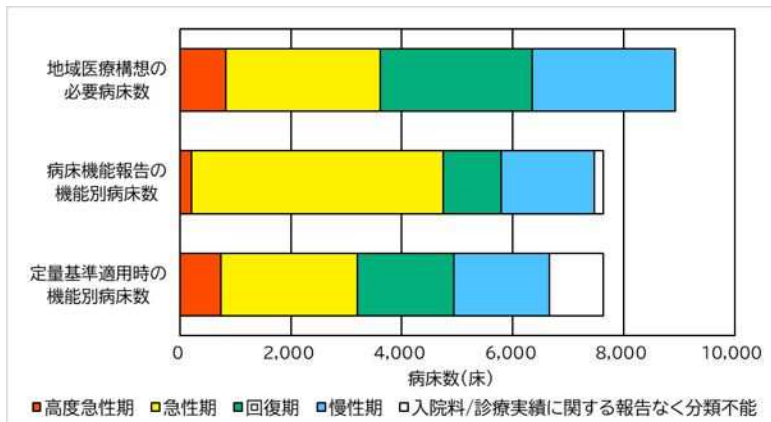
4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	719床
回復期	74床
慢性期	19床
休棟中・無回答	168床
	980床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】



・高度急性期の病床数について、病床機能報告における（医療機関の自主的な選択に基づく）病床数が著しく少なく、2025年における必要病床数のみならず、定量基準適用時の病床数よりも大幅に少ない状態にある。すなわち、医療機関自らが「高度急性期の病棟」と位置付けていない病棟において、実際には多数の高度急性期相当の患者に対応しているケースが多いのではないかと推察される。

・一方、高度急性期の病床稼働率は、2018年：69.6%→2019年：64.5%→2020年：70.6%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率（75%）よりも低い。高度急性期～急性期の患者の受入について、医療機関間の機能分担を明確化し、1医療機関当たりの対応体制の強化を図ることが課題なのではないかと推察される。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【さいたま圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	21病棟	154人/日	235床	64.5%	4.3日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	15病棟	451人/日	557床	80.6%	8.4日	
		急性期	53病棟	1,589人/日	2,075床	76.6%	11.3日	
		回復期	24病棟	676人/日	939床	74.7%	18.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	10病棟	421人/日	487床	87.6%	63.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	4病棟	152人/日	194床	77.5%	219.0日	
	医療療養病床	慢性期	17病棟	750人/日	815床	92.2%	209.1日	
介護療養病床	慢性期	2病棟	66人/日	84床	78.4%	112.8日		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	8病棟	102人/日	144床	75.3%	15.6日	
	産科の一般病床	急性期	14病棟	172人/日	278床	68.9%	6.8日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	10病棟	193人/日	276床	69.8%	6.5日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	4病棟	43人/日	100床	43.2%	6.5日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	0人/日	20床	0.0%	-	
その他	不明	不明/休棟	16病棟	405人/日	566床	67.3%	16.6日	
	休棟・休床中	不明/休棟	4病棟	17人/日	89床	19.2%	8.8日	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	899人/日	75.0%	74.5%
急性期	1,805人/日	78.0%	74.5%
回復期	1,097人/日	90.0%	79.5%
慢性期	967人/日	92.0%	86.6%
不明	422人/日	—	59.7%
合計	5,189人/日	—	75.9%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		87.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		70.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		74.0%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		80.0%
うち産科・小児科を除く有床診療所		-
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	54病棟	899人/日	1,212床	1,526床	1,039床	74.5%	7.2日
急性期 計	71病棟	1,805人/日	2,453床	3,303床	2,770床	74.5%	10.5日
回復期 計	34病棟	1,097人/日	1,426床	689床	2,301床	79.5%	25.5日
慢性期 計	24病棟	967人/日	1,113床	1,252床	1,554床	86.6%	196.7日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	20病棟	422人/日	655床	89床☆		59.7%	15.9日
全体	203病棟	5,189人/日	6,859床	6,859床	7,664床	75.9%	13.5日

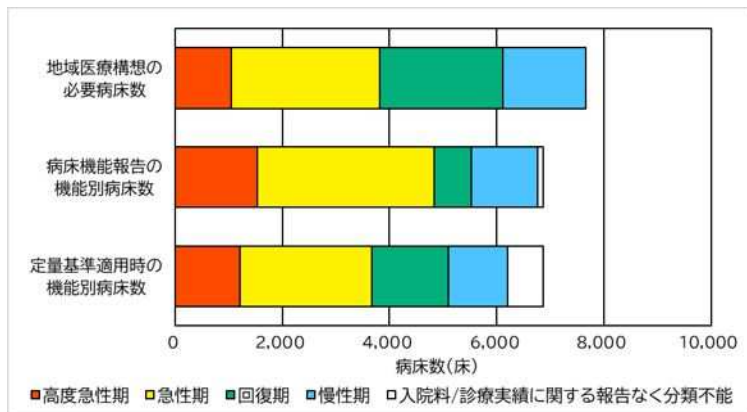
4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	140床
急性期	234床
回復期	30床
慢性期	162床
休棟中・無回答	89床
	655床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】



・回復期・慢性期の病床数が、2025年における必要病床数に対して不足している。今後、入院医療需要のさらなる増大が予想される中で、「医療区分1の患者等の在宅移行の推進」「病床稼働率の向上」「病床の転換」が、県平均以上に必要ではないか。

・一方、回復期リハビリテーション病棟以外の回復期の病床の稼働率が低く、軽症急性期の病床稼働率の向上も含めた需要増への対応が重要な課題ではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【県央圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	8病棟	60人/日	117床	51.0%	3.6日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	6病棟	188人/日	228床	89.6%	8.4日	
		急性期	24病棟	756人/日	1,021床	74.2%	11.7日	
		回復期	11病棟	256人/日	386床	69.4%	21.9日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	6病棟	233人/日	275床	84.7%	74.6日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	2病棟	76人/日	91床	83.3%	80.8日	
	医療療養病床	慢性期	16病棟	545人/日	668床	81.6%	269.6日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	5病棟	65人/日	88床	74.4%	5.5日	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病棟	10人/日	14床	72.3%	4.2日	
		回復期	1病棟	0人/日	2床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	2病棟	43人/日	57床	75.3%	19.5日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	12人/日	15床	79.6%	30.7日	
その他	不明	不明/休棟	8病棟	142人/日	281床	53.7%	17.4日	
	休棟・休床中	不明/休棟	3病棟	0人/日	75床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	248人/日	75.0%	75.8%
急性期	874人/日	78.0%	74.2%
回復期	489人/日	90.0%	76.0%
慢性期	633人/日	92.0%	81.8%
不明	142人/日	—	41.7%
合計	2,386人/日	—	72.6%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		84.7%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		93.7%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		63.1%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		44.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所		44.0%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	14病棟	248人/日	345床	587床	344床	75.8%	6.4日
急性期 計	32病棟	874人/日	1,180床	1,558床	1,273床	74.2%	10.7日
回復期 計	18病棟	489人/日	663床	286床	1,120床	76.0%	33.0日
慢性期 計	19病棟	633人/日	774床	812床	797床	81.8%	170.8日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	11病棟	142人/日	356床	75床☆	-	41.7%	17.4日
全体	94病棟	2,386人/日	3,318床	3,318床	3,534床	72.6%	15.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	262床
回復期	0床
慢性期	19床
休棟中・無回答	75床
	356床

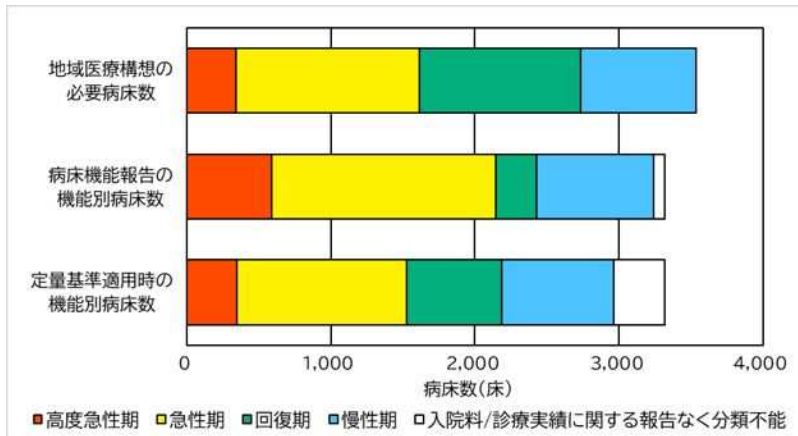
※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】

・回復期の病床数が、2025年における必要病床数に対して不足している。今後、入院医療需要のさらなる増大が予想される中で、「医療区分1の患者等の在宅移行の推進」「病床稼働率の向上」「病床数の増」が、県平均以上に必要ではないか。一方、回復期リハビリテーション病棟の病床稼働率は地域医療構想における想定病床稼働率(90%)よりも低い。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【川越比企圏域】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考	
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病棟	58人/日	94床	57.2%	5.0日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分	
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	11病棟	209人/日	333床	63.4%	9.6日		
		急性期	44病棟	1,403人/日	1,688床	76.8%	11.9日		
		回復期	31病棟	918人/日	1,332床	70.1%	20.0日		
	回復期リハビリ病棟	回復期	11病棟	471人/日	558床	84.4%	73.4日		
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病棟	330人/日	376床	85.5%	61.5日		
	医療療養病床	慢性期	31病棟	1,304人/日	1,453床	89.7%	269.8日		
介護療養病床	慢性期	1病棟	52人/日	61床	84.5%	400.2日			
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	7病棟	116人/日	180床	64.7%	16.0日		
	産科の一般病床	急性期	11病棟	203人/日	310床	74.2%	6.7日		
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	3病棟	53人/日	94床	56.2%	6.6日	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分	
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする	
		慢性期	2病棟	38人/日	50床	76.0%	27.1日		
その他	不明	不明/休棟	8病棟	115人/日	276床	41.6%	9.3日		
	休棟・休床中	不明/休棟	10病棟	108人/日	146床	20.6%	11.4日		

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	436人/日	75.0%	62.4%
急性期	1,606人/日	78.0%	76.4%
回復期	1,389人/日	90.0%	74.8%
慢性期	1,723人/日	92.0%	88.2%
不明	223人/日	—	34.3%
合計	5,377人/日	—	73.8%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	84.4%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	84.9%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	59.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	79.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	57.7%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	28病棟	436人/日	701床	1,726床	802床	62.4%	9.7日
急性期 計	55病棟	1,606人/日	1,998床	2,045床	2,260床	76.4%	10.8日
回復期 計	42病棟	1,389人/日	1,890床	1,074床	2,518床	74.8%	27.3日
慢性期 計	42病棟	1,723人/日	1,940床	1,960床	2,072床	88.2%	147.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	18病棟	223人/日	422床	146床	146床	34.3%	9.7日
全体	185病棟	5,377人/日	6,951床	6,951床	7,652床	73.8%	17.9日

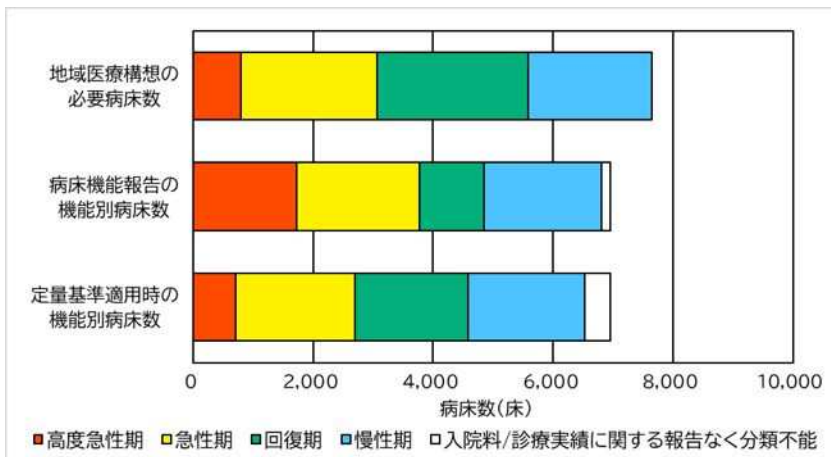
4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	76床
急性期	200床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	146床
	422床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

※…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】



- ・県全体の傾向と同様、回復期の病床稼働率が2018年：69.5%→2019年：78.2%→2020年度：74.8%であり、依然として地域医療構想における想定病床稼働率（90%）よりも低い。
- ・一方、病床数は2025年における必要病床数に対し不足しており、回復期の病床稼働率の向上を通じた需要増への対応が必要となるのではないかと。
- ・病床機能報告での報告ベースでの高度急性期の病床数が多いため、高度急性期を担う病棟が満たすべき要件を明確化した上で、それをどの病院・病棟が担うかを整理することが必要ではないかと。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【西部】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	16病棟	134人/日	183床	73.3%	4.9日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	7病棟	220人/日	253床	82.4%	8.6日	
		急性期	29病棟	886人/日	1,247床	73.4%	12.1日	
		回復期	31病棟	753人/日	1,217床	69.7%	25.3日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	13病棟	488人/日	595床	80.9%	62.8日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	9病棟	375人/日	490床	76.4%	433.3日	
	医療療養病床	慢性期	26病棟	1,211人/日	1,301床	94.0%	283.6日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	1病棟	3人/日	3床	97.7%	8.4日	
	産科の一般病床	急性期	9病棟	134人/日	222床	68.5%	6.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	2病棟	29人/日	54床	52.9%	11.5日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病棟	16人/日	20床	80.2%	21.8日	
その他	不明	不明/休棟	32病棟	1,050人/日	1,269床	82.4%	17.3日	
	休棟・休床中	不明/休棟	7病棟	0人/日	143床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	357人/日	75.0%	78.3%
急性期	1,049人/日	78.0%	71.6%
回復期	1,241人/日	90.0%	74.2%
慢性期	1,602人/日	92.0%	88.4%
不明	1,050人/日	—	72.8%
合計	5,298人/日	—	77.6%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	80.9%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	91.2%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	63.5%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	81.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所	67.1%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	24病棟	357人/日	439床	815床	694床	78.3%	6.4日
急性期 計	40病棟	1,049人/日	1,523床	2,955床	2,249床	71.6%	10.4日
回復期 計	44病棟	1,241人/日	1,812床	871床	2,370床	74.2%	34.2日
慢性期 計	36病棟	1,602人/日	1,811床	2,213床	2,638床	88.4%	271.5日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	39病棟	1,050人/日	1,412床	143床☆	-	72.8%	17.3日
全体	183病棟	5,298人/日	6,997床	6,997床	7,951床	77.6%	21.1日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	887床
回復期	36床
慢性期	346床
休棟中・無回答	143床
	1,412床

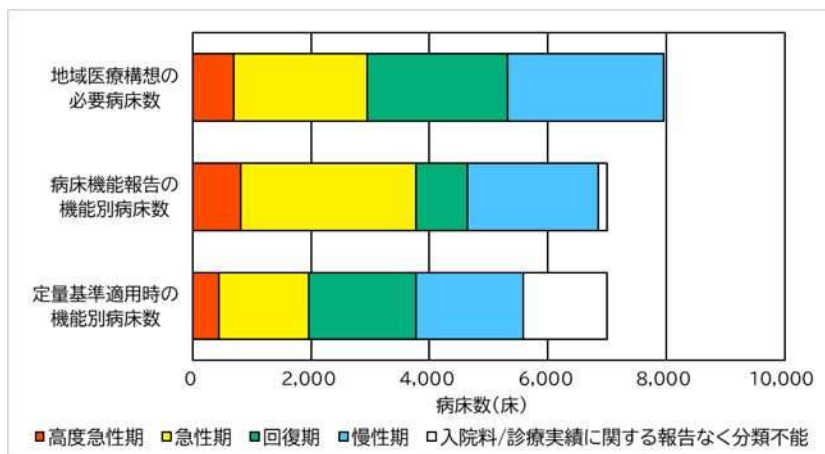
※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】

- 高度急性期の病床稼働率が（区分線1付近の病棟が高度急性期・急性期のどちらに区分されるかによって値が大きく変わりうることに留意は必要であるが）2018年：77.2%→2019年：85.1%→2020年度：78.3%であり、地域医療構想における想定病床稼働率（75%）を上回っている。
- 一方、県平均と比べても高度急性期の平均在棟日数はやや短い。
- 急性期・回復期・慢性期ともに、2020年度においては必要病床数に対して不足しており、必要な病床数の確保が課題ではないか。



令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【利根】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在床日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	7病床	74人/日	156床	47.5%	5.3日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	7病床	268人/日	319床	81.6%	11.8日	
		急性期	23病床	835人/日	1,070床	80.3%	11.2日	
		回復期	25病床	619人/日	898床	70.1%	21.1日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	8病床	311人/日	370床	85.6%	57.1日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	8病床	331人/日	394床	83.9%	86.6日	
	医療療養病床	慢性期	9病床	312人/日	414床	86.4%	179.5日	
介護療養病床	慢性期	0病床	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	4病床	54人/日	108床	52.5%	4.0日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病床	12人/日	30床	40.7%	3.7日	
		回復期	0病床	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病床	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	1病床	7人/日	14床	53.5%	18.7日	
その他	不明	不明/休棟	19病床	245人/日	552床	47.8%	14.3日	
	休棟・休床中	不明/休棟	5病床	17人/日	172床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	342人/日	75.0%	70.0%
急性期	901人/日	78.0%	76.8%
回復期	930人/日	90.0%	74.5%
慢性期	650人/日	92.0%	84.3%
不明	262人/日	—	38.5%
合計	3,085人/日	—	70.7%

回復期の内訳	病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟	85.6%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1	84.8%
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟	67.9%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等	92.7%
うち産科・小児科を除く有床診療所	39.3%
うち小児科の一般病棟・有床診	-

4機能ごとに集計

4機能区分	該当病床数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在床日数(*)
高度急性期 計	14病床	342人/日	475床	335床	426床	70.0%	9.2日
急性期 計	28病床	901人/日	1,208床	2,316床	1,580床	76.8%	9.8日
回復期 計	33病床	930人/日	1,268床	705床	1,448床	74.5%	26.5日
慢性期 計	18病床	650人/日	822床	969床	1,176床	84.3%	103.6日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	24病床	262人/日	724床	172床☆	-	38.5%	14.3日
全体	117病床	3,085人/日	4,497床	4,497床	4,630床	70.7%	16.2日

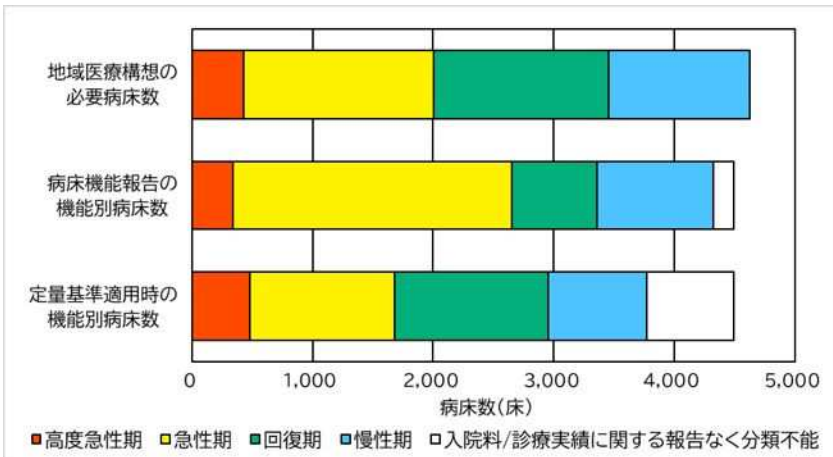
4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	50床
急性期	341床
回復期	69床
慢性期	92床
休棟中・無回答	172床
	724床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在床日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在床日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。

【集計分析結果から想定される課題】



・前回の分析に比べ、きわめて少なかった高度急性期の病床が大きく増え、多かった急性期の病床数が大きく減った。急性期の病床の一部について、より重症度の高い患者への対応が可能となるような機能強化を通じて、高度急性期の病床が増強された可能性もあるが、新型コロナウイルス感染症対応によって生じた一時的なものである可能性であることにも留意が必要であると思われる。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【北部】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	6病棟	46人/日	91床	51.4%	5.6日	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	1病棟	35人/日	42床	83.4%	8.6日	
		急性期	27病棟	906人/日	1,168床	78.5%	14.6日	
		回復期	23病棟	596人/日	894床	62.5%	17.2日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	3病棟	141人/日	155床	93.0%	70.5日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	3病棟	126人/日	121床	-	-	
	医療療養病床	慢性期	19病棟	812人/日	849床	91.5%	194.9日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	8病棟	125人/日	275床	61.2%	7.5日	
小児	小児入院管理料・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	1病棟	11人/日	42床	26.5%	8.0日	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	1病棟	10人/日	14床	71.6%	17.0日	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	2病棟	9人/日	17床	51.1%	28.6日	
	休棟・休床中	不明/休棟	6病棟	14人/日	145床	0.0%	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	81人/日	75.0%	62.3%
急性期	1,053人/日	78.0%	74.1%
回復期	738人/日	90.0%	66.1%
慢性期	938人/日	92.0%	91.5%
不明	23人/日	—	8.9%
合計	2,833人/日	—	73.5%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		93.0%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		-
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		56.6%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		76.3%
うち産科・小児科を除く有床診療所		29.4%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

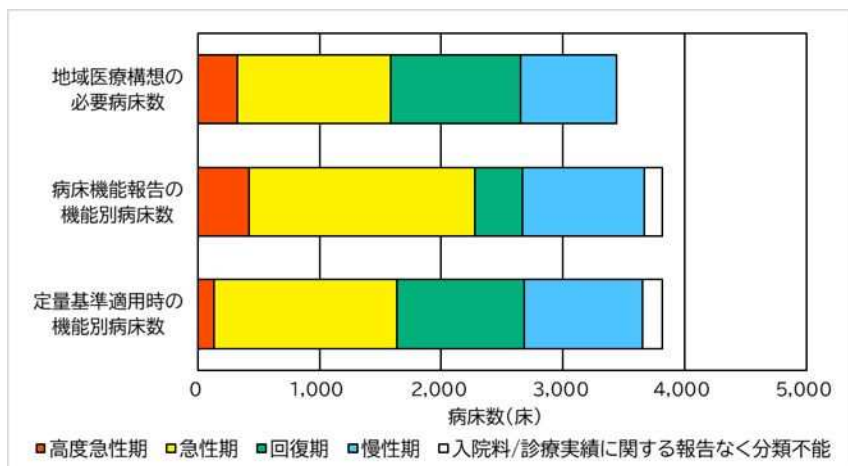
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	7病棟	81人/日	133床	420床	327床	62.3%	6.7日
急性期 計	37病棟	1,053人/日	1,499床	1,854床	1,258床	74.1%	12.9日
回復期 計	26病棟	738人/日	1,049床	393床	1,066床	66.1%	19.6日
慢性期 計	22病棟	938人/日	970床	1,001床	791床	91.5%	194.9日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	8病棟	23人/日	162床	145床☆	-	8.9%	28.6日
全体	100病棟	2,833人/日	3,813床	3,813床	3,442床	73.5%	19.2日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	2床
回復期	15床
慢性期	0床
休棟中・無回答	145床
	162床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- 回復期の病床稼働率が2018年：70.6%→2019年：69.3%→2020年度：66.1%であり、地域医療構想における想定病床稼働率（90%）よりも低い稼働率が、さらに下がっている状況にある。
- 全病床に占める回復期リハビリテーション病棟の病床の割合が4.1%であり、県内で最も低い。回復期リハビリテーション病棟の病床稼働率は、2018年：97.2%→2019年：93.3%→2020年度：93.0%ときわめて高く、病床が逼迫している可能性があるのではないか。

令和3年度病床機能報告 定量基準分析結果【秩父】

大区分	入院料・診療科	4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)	備考
成人の医療等	救命救急・ICU等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	区分線1・区分線2によって高度急性期・急性期・回復期に区分
	一般病棟・地域包括ケア病床等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		急性期	5病棟	132人/日	212床	64.1%	14.5日	
		回復期	5病棟	125人/日	198床	60.8%	21.0日	
	回復期リハビリ病棟	回復期	1病棟	37人/日	40床	92.8%	81.4日	
	特殊疾患病棟・障害者施設等	慢性期	1病棟	53人/日	60床	89.0%	57.5日	
	医療療養病床	慢性期	5病棟	108人/日	177床	74.4%	84.7日	
介護療養病床	慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-		
周産期	MFICU・NICU・GCU	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
	産科の一般病床	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
小児	小児入院管理科・小児科の一般病棟等	高度急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	医師・看護師の配置要件等を勘案し、入院料の種類に応じて高度急性期・急性期・回復期に区分
		急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
		回復期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
緩和ケア	緩和ケア病棟	急性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	放射線治療の実施がある病棟を急性期、ない病棟を慢性期とする
		慢性期	0病棟	0人/日	0床	-	-	
その他	不明	不明/休棟	1病棟	0人/日	29床	0.0%	-	
	休棟・休床中	不明/休棟	0病棟	0人/日	0床	-	-	

	1日当たり入院患者数	病床稼働率(*)	
		地域医療構想の想定	今回の区分結果
高度急性期	0人/日	75.0%	-
急性期	132人/日	78.0%	64.1%
回復期	162人/日	90.0%	67.1%
慢性期	161人/日	92.0%	79.7%
不明	0人/日	-	0.0%
合計	455人/日	-	66.3%

回復期の内訳		病床稼働率(*)
うち回復期リハビリテーション病棟		92.8%
うち産科・小児科を除く急性期一般病棟1、一般病棟7:1		-
うち産科・小児科を除くその他の一般病棟		82.2%
うち産科・小児科を除く地域包括ケア病棟等		43.1%
うち産科・小児科を除く有床診療所		2.7%
うち小児科の一般病棟・有床診		-

4機能ごとに集計

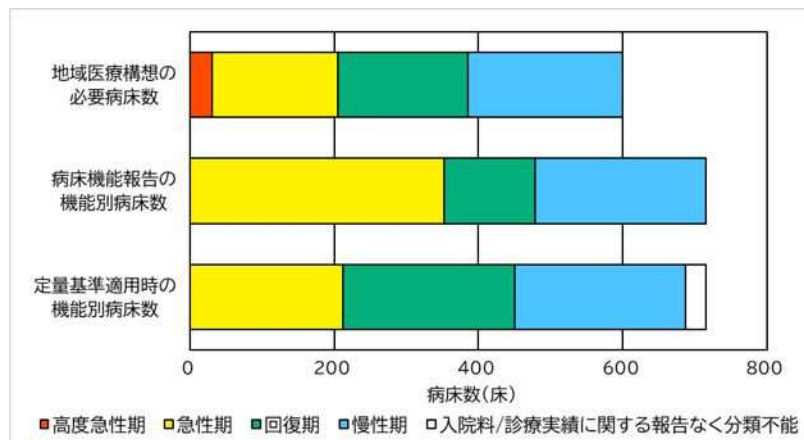
4機能区分	該当病棟数	1日当たり入院患者数	定量基準適用時の機能別病床数	病床機能報告の機能別病床数	地域医療構想の必要病床数	病床稼働率(*)	平均在棟日数(*)
高度急性期 計	0病棟	0人/日	0床	0床	31床	-	-
急性期 計	5病棟	132人/日	212床	353床	174床	64.1%	14.5日
回復期 計	6病棟	162人/日	238床	126床	181床	67.1%	26.4日
慢性期 計	6病棟	161人/日	237床	237床	214床	79.7%	71.0日
機能区分不明または休棟・休床中の病床(※)	1病棟	0人/日	29床	0床☆	0床	0.0%	-
全体	18病棟	455人/日	716床	716床	600床	66.3%	24.8日

4機能区分	入院料や診療実績に関する報告がない病棟等の病床機能報告の機能別病床数
高度急性期	0床
急性期	29床
回復期	0床
慢性期	0床
休棟中・無回答	0床
	29床

※「機能区分不明」とは、入院料の届出なし・不明、様式2不提出等により判定ができないもの。

☆…病床機能報告中、「当年7/1時点の医療機能」が「休棟・休床中」または無回答のもの

*「病床稼働率」「平均在棟日数」は、「年間新規入院患者数と退院患者数とが大きく乖離」「救命救急・ICU等」以外で平均在棟日数が2日間未満「産科以外で病床稼働率が100%超」の病棟を除いて算出。



【集計分析結果から想定される課題】

- ・高度急性期が域内になく、病棟間の機能分化が、他地域に比べて不明瞭である可能性があるのではないかと。
- ・人口規模が小さいこと、2025年における必要病床数が現在の病床数を大きく下回ることを考慮すると、「域内での完結性を向上させるべき機能」「他地域との連携によって提供を図る機能」「県内他地域で不足が顕著となる中で、積極的に域内への受入れを図る機能」の整理が必要ではないかと。

各圏域の定量基準による機能別病床稼働率（令和3年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	70.4%	74.7%	75.1%	86.8%	52.9%	74.6%
南部	65.5%	73.4%	77.0%	82.9%	34.0%	74.9%
南西部	64.0%	77.8%	74.8%	93.0%	77.5%	78.8%
東部	70.6%	74.9%	77.9%	83.9%	49.2%	73.3%
さいたま	74.5%	74.5%	79.5%	86.6%	59.7%	75.9%
県央	75.8%	74.2%	76.0%	81.8%	41.7%	72.6%
川越比企	62.4%	76.4%	74.8%	88.2%	34.3%	73.8%
西部	78.3%	71.6%	74.2%	88.4%	72.8%	77.6%
利根	70.0%	76.8%	74.5%	84.3%	38.5%	70.7%
北部	62.3%	74.1%	66.1%	91.5%	8.9%	73.5%
秩父	-	64.1%	67.1%	79.7%	0.0%	66.3%

各圏域の定量基準による機能別平均在棟日数（令和3年度報告）

4機能区分	4機能区分まとめ					合計
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	不明	
埼玉県全体	7.7日	10.7日	27.2日	150.4日	15.6日	16.7日
南部	7.2日	10.2日	24.2日	113.0日	9.0日	15.3日
南西部	7.0日	11.0日	25.8日	117.0日	24.4日	17.1日
東部	9.5日	10.4日	31.7日	126.6日	14.7日	16.8日
さいたま	7.2日	10.5日	25.5日	196.7日	15.9日	13.5日
県央	6.4日	10.7日	33.0日	170.8日	17.4日	15.2日
川越比企	9.7日	10.8日	27.3日	147.9日	9.7日	17.9日
西部	6.4日	10.4日	34.2日	271.5日	17.3日	21.1日
利根	9.2日	9.8日	26.5日	103.6日	14.3日	16.2日
北部	6.7日	12.9日	19.6日	194.9日	28.6日	19.2日
秩父	-	14.5日	26.4日	71.0日	-	24.8日

各閾値の月別状況（令和3年度報告）

		しきい値による判定対象データ（最大使用病床数あたりの数量）													
		区分線1										区分線2			
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
		全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（レセプト枚数）	化学療法（日数）
		2.0回/月・床以上	0.5回/月・床以上	0.5回/月・床以上	あり	あり	0.5回/月・床以上	あり	0.2回/月・床以上	0.2回/月・床以上	8.0回/月・床以上	2.0回/月・床以上	0.1回/月・床以上	0.1枚/月・床以上	1.0日/月・床以上
埼玉県全体	4月	0.30593	0.05815	0.06822	0.00000	0.00021	0.02533	0.00021	0.02337	0.01208	1.50216	0.72694	0.05815	0.02411	0.39632
埼玉県全体	5月	0.23691	0.04533	0.05846	0.00005	0.00011	0.02116	0.00037	0.01968	0.01393	1.45467	0.60020	0.04533	0.02206	0.36867
埼玉県全体	6月	0.32445	0.06596	0.07002	0.00011	0.00021	0.02786	0.00037	0.01995	0.01224	1.43995	0.78129	0.06596	0.02343	0.37817
埼玉県全体	7月	0.36255	0.06263	0.06611	0.00005	0.00032	0.03198	0.00058	0.01910	0.01446	1.53234	0.85706	0.06263	0.02417	0.40080
埼玉県全体	8月	0.36186	0.06115	0.06226	0.00026	0.00026	0.02622	0.00021	0.01979	0.01045	1.52243	0.81939	0.06115	0.02396	0.36951
埼玉県全体	9月	0.35764	0.06290	0.06516	0.00016	0.00005	0.02981	0.00032	0.01704	0.00923	1.45309	0.82904	0.06290	0.02390	0.40017
埼玉県全体	10月	0.39859	0.06997	0.07192	0.00011	0.00032	0.03525	0.00021	0.02274	0.01662	1.61176	0.95003	0.06997	0.02454	0.41442
埼玉県全体	11月	0.34487	0.06110	0.06743	0.00016	0.00026	0.03145	0.00021	0.01863	0.01720	1.57340	0.82588	0.06110	0.02549	0.37827
埼玉県全体	12月	0.35542	0.06411	0.06569	0.00011	0.00026	0.03002	0.00032	0.02227	0.01762	1.55598	0.83580	0.06411	0.02480	0.37606
埼玉県全体	1月	0.33585	0.05583	0.06680	0.00016	0.00032	0.02712	0.00021	0.02570	0.01472	1.49615	0.78398	0.05583	0.02053	0.37875
埼玉県全体	2月	0.33959	0.05815	0.06749	0.00005	0.00016	0.02876	0.00032	0.02153	0.01525	1.35094	0.77406	0.05815	0.02174	0.35263
埼玉県全体	3月	0.40196	0.07192	0.08147	0.00011	0.00032	0.03435	0.00042	0.01889	0.01662	1.51995	0.92977	0.07192	0.02279	0.39431
埼玉県全体	年度計	0.34380	0.06143	0.06759	0.00011	0.00023	0.02911	0.00031	0.02072	0.01420	1.50107	0.80945	0.06143	0.02346	0.38401

令和3年度病床機能報告 各医療機関からの報告内容と定量基準分析結果について 【南西部医療圏】

注①「病床数（一般+療養）」、「稼働病床数」、「入院基本料・特定入院料」は、各医療機関から様式1により報告された令和3年7月1日時点のデータ
②区分指標ごとの各医療機関の診療実績は、各医療機関から様式2により報告された令和3年6月診療分かつ7月審査分のデータを基に計算
(但し、「O」は様式1により報告された令和2年4月1日～令和3年3月31日のデータを基に計算、「P」は様式1により報告された令和3年6月のデータを基に計算)

※報告内容に差異のある病床のパターン A：報告内容「高度急性期」→「回復期」 B：報告内容「高度急性期」→定量基準「急性期」 C：報告内容「急性期」→定量基準「回復期」

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病床名	令和3年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数（一般+療養）	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																定量基準分析結果			
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色								
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療（シブト枚数）	化学療法（日数）	予定外の救急医療入院の人数		一般診療用重症患者・医療・看護必要度を満たす患者割合		
										2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%				
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5D病棟	高度急性期	高度急性期		42	42	急性期一般入院料1	2.52									3.21	2.67				0.69	48.9	高度急性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	HCU	高度急性期	高度急性期		8	8	リハビリ入院医療管理料1																0.25		高度急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	SCU	高度急性期	高度急性期		8	8	脳卒中ケア入院医療管理料															27.00	90.5	高度急性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	ICU	高度急性期	高度急性期		10	10	特定集中治療室管理料3	0.90			0.10	0.60	0.30	0.10	0.30	0.70	11.50	1.70				29.40		高度急性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6C病棟	慢性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料1															0.25		慢性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6B病棟	急性期	急性期		45	45	急性期一般入院料1								0.11			2.58	0.47		0.04	0.44	10.64	48.1	急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	6A病棟	急性期	急性期		47	47	急性期一般入院料1				0.15					0.09		2.30	1.00		0.02	0.49	12.96	45.4	急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5B病棟	急性期	急性期		42	42	急性期一般入院料1	0.95	0.02	0.02								0.69	2.12	0.02	0.05	0.05	9.95	39.5	急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5A病棟	慢性期	慢性期		42	42	障害者施設等10対1入院基本料												0.02				3.05		慢性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4D病棟	急性期	回復期	C	32	32	小児入院医療管理料4	0.41	0.22													12.81	43.5	回復期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4C病棟	急性期	高度急性期		27	27	急性期一般入院料1	3.33	2.04	0.81						0.07		13.63	3.44	2.04			5.52	52.7	高度急性期	
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4B病棟	急性期	急性期		35	35	急性期一般入院料1						0.11				0.03		1.40	0.31			0.09	9.40	63.0	急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	4A病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料1	0.09										0.98	0.28				0.02	8.11	57.8	急性期
南西部	朝霞市	病院	医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター	5C病棟	高度急性期	急性期	B	42	42	急性期一般入院料1	1.00	0.36	0.02								0.69	1.21	0.36			1.12		急性期	
南西部	朝霞市	病院	朝霞厚生病院	2階病棟	急性期	回復期	C	38	31	地域一般入院料3											2.74	0.13				4.84		回復期	
南西部	朝霞市	病院	朝霞厚生病院	3階病棟	慢性期	慢性期		47	38	障害者施設等13対1入院基本料															0.05		慢性期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人山柳会塩味病院	一般病棟	急性期	回復期	C	36	36	地域一般入院料3									0.06		0.06	0.08			0.03		回復期		
南西部	朝霞市	病院	医療法人山柳会塩味病院	回復期病棟	回復期	不明/休床		24	24	入院料の届出し																		不明/休床	
南西部	志木市	病院	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	2階病棟	回復期	回復期		40	40	回復期リハビリテーション病棟入院料1																		回復期	
南西部	志木市	病院	医療法人社団武蔵野会TMG宗岡中央病院	3階病棟	急性期	回復期	C	60	60	急性期一般入院料2	0.03		0.02									0.17	0.20			0.02	6.68	16.4	回復期
南西部	志木市	病院	医療法人社団浅野病院	2F病棟	慢性期	慢性期		48	44	療養病棟入院料1									0.02		5.77							慢性期	
南西部	志木市	病院	医療法人社団浅野病院	3F病棟	慢性期	慢性期		50	50	療養病棟入院料1											3.60	0.04						慢性期	
南西部	和光市	病院	坪田和光病院	一般病棟	急性期	回復期	C	51	36	地域包括ケア入院医療管理料2											0.83	0.11			0.03	0.83		回復期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5A病棟	急性期	急性期		40	27	小児入院医療管理料2	0.30	0.04									0.41	0.33	0.04			1.52		急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6S病棟	急性期	急性期		52	52	急性期一般入院料1	0.83											0.54	2.52			5.40	36.9	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6N病棟	急性期	急性期		50	50	急性期一般入院料1	0.34		0.30								1.14	1.36		0.12	0.88	3.00	32.9	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5N病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	リハビリ入院医療管理料1	10.50	5.50	4.00						3.00		14.75	10.50	5.50			2.75		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5N病棟	急性期	急性期		46	44	急性期一般入院料1	0.57	0.43	0.14					0.07	0.02		3.00	1.14	0.43	0.02	0.02	4.98	35.4	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5S病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料1	0.40	0.13	0.29								3.75	1.16	0.13	0.07	0.49	3.96	39.3	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4B病棟	急性期	急性期		44	48	急性期一般入院料1	0.04				0.40				0.02		1.29	0.83			0.02	1.94	39.8	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	5B病棟	急性期	急性期		42	26	急性期一般入院料1	0.04	0.04									2.00	0.08	0.04		0.46	3.19	31.2	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	6B病棟	急性期	慢性期		20	20	緩和ケア病棟入院料2																1.25		慢性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4N病棟	急性期	回復期	C	40	44	急性期一般入院料1	0.23										0.20	0.39		0.07	0.02	3.55	27.6	回復期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4B病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	0	リハビリ入院医療管理料1																		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4A病棟ICU・CCU	高度急性期	高度急性期		8	0	救命救急入院料2																		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4A病棟HCU	高度急性期	高度急性期		16	0	救命救急入院料1																		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3B病棟MFICU	高度急性期	高度急性期		3	3	総合高度期特定集中治療室管理料（母体・胎児）															10.33			高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3B病棟	急性期	急性期		40	40	急性期一般入院料1												0.78				4.00	50.3	急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3A病棟GCU	高度急性期	高度急性期		15	11	新生児治療回復室入院医療管理料																		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	3A病棟NICU	高度急性期	高度急性期		12	12	新生児特定集中治療室管理料2											0.50	0.17				0.25		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4N病棟HCU	高度急性期	高度急性期		4	4	リハビリ入院医療管理料1	3.00			0.25	0.50				0.25	0.25	13.50	4.00				12.00		高度急性期	
南西部	和光市	病院	独立行政法人国立病院機構埼玉病院	4S病棟	急性期	回復期	C	51	30	急性期一般入院料1	0.13		0.13								1.13	0.80				4.16	27.4	回復期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館4階病棟	慢性期	慢性期		25	25	療養病棟入院料1																0.04		慢性期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館7階病棟	慢性期	慢性期		37	35	療養病棟入院料1																0.09		慢性期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館6階病棟	慢性期	慢性期		30	30	療養病棟入院料1												0.10						慢性期	
南西部	和光市	病院	医療法人寿鶴会菅野病院	本館5階病棟	慢性期	回復期		28	26	地域包括ケア病棟入院料4												0.04				1.04		回復期	
南西部	和光市	病院	医療法人泰一会和光リハビリテーション病院	回復期	回復期	回復期		43	43	回復期リハビリテーション病棟入院料1																		回復期	
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	本館2階	急性期	回復期	C	49	49	地域一般入院料1	0.16	0.02	0.06							0.04		2.84	0.49	0.02		0.08	5.29	30.8	回復期
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	本館3階	急性期	高度急性期		52	52	地域一般入院料1											0.25	0.08	7.08	0.12			4.85	58.8	高度急性期
南西部	新座市	病院	堀ノ内病院	2号館2階	急性期	急性期		56	56	地域一般入院料1	0.04									0.09		2.48	0.14			3.98	49.7	急性期	
南西部	新座市	病院																											

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和3年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のバターン※	病床数(一般+療養)	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果		
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色								
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P			
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療(セプト枚数)	化学療法(日数)	予定外の救急医療入院人数	一般病棟用の重症患者(医師・看護師必須)の患者割合			
										2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%				
南西部	新座市	病院	北野病院	11	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料 1																慢性期			
南西部	新座市	病院	医療法人社団青葉会新座病院	3階病棟	回復期	回復期		48	48	回復期別リハビリ病棟入院料 1														0.13		回復期			
南西部	新座市	病院	医療法人社団青葉会新座病院	4階病棟	回復期	回復期		32	32	地域包括ケア病棟入院料 1							0.03		0.13	0.16				0.09	7.38	2.8	回復期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団青葉会新座病院	2階病棟	回復期	回復期		48	48	回復期別リハビリ病棟入院料 1														0.10		回復期			
南西部	新座市	病院	静風荘病院	3階病棟	慢性期	慢性期		48	34	障害者施設等13対1入院基本料									0.88							慢性期			
南西部	新座市	病院	静風荘病院	4階病棟	慢性期	慢性期		38	32	障害者施設等13対1入院基本料							0.03		5.06					0.88		慢性期			
南西部	新座市	病院	静風荘病院	5階病棟	慢性期	慢性期		38	33	障害者施設等13対1入院基本料																慢性期			
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F2病棟	急性期	高度急性期		52	52	急性期一般入院料 1	1.02	0.50	0.23					0.06		4.19	1.33	0.50	0.04	1.40	5.58	高度急性期			
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F3病棟	急性期	急性期		46	46	急性期一般入院料 1					0.28			0.17		0.74	0.70			0.54	11.83	44.3	急性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	C3病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 1			0.02					0.10		0.29	0.63				0.73	9.60	37.5	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	C2病棟	急性期	急性期		57	57	急性期一般入院料 1	0.23	0.04	0.14							1.32	0.53	0.04			0.21	8.47	40.7	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A6病棟	慢性期	慢性期		34	34	障害者施設等10対1入院基本料											0.03				0.44	3.00	慢性期		
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A4病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料 1								0.16		2.53	0.22				0.69	10.53	47.7	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A5病棟	急性期	急性期		32	32	急性期一般入院料 1	0.03										0.06					8.53	37.9	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	F4病棟	急性期	急性期		55	55	急性期一般入院料 1	0.64										0.47				0.07	4.44	54.0	急性期	
南西部	新座市	病院	医療法人社団武蔵野会新座志木中央総合病院	A7病棟	慢性期	回復期		38	38	地域包括ケア病棟入院料 2	0.39											0.45				3.05	13.4	回復期	
南西部	新座市	病院	医療法人向英会高田整形外科病院	一般	急性期	回復期	C	40	31	地域一般入院料 3	0.45											0.58				0.65		回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	3階一般	急性期	回復期	C	48	48	急性期一般入院料 7	0.02									1.98	0.10					22.6	回復期		
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	地域包括	急性期	回復期	C	48	48	地域包括ケア病棟入院料 1	0.02										0.02					2.62	17.6	回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人さくらさくら記念病院	2階一般	急性期	回復期	C	40	40	急性期一般入院料 7	0.15								0.03		1.05	0.48				0.05	27.3	回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人恵愛会恵愛病院	産婦人科病棟	急性期	急性期		60	60	急性期一般入院料 7												1.97					急性期		
南西部	富士見市	病院	みずほ病院	一般病棟	急性期	急性期		60	53	急性期一般入院料 4	0.19	0.06	0.06								3.21	0.68	0.06		0.36	2.83	42.1	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	CCU	高度急性期	高度急性期		5	5	ICU入院医療管理料 1				3.60			1.20	1.00	16.00	5.20					60.60		高度急性期		
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	HCU	高度急性期	高度急性期		7	7	ICU入院医療管理料 1	0.29	0.14			0.14			0.43		21.00	0.57	0.14				32.48		高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館6階	急性期	急性期		45	45	小児入院医療管理料 2	0.16										0.02	0.22				11.76		急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	SCU	高度急性期	高度急性期		5	5	ICU入院医療管理料 1	3.40							0.40	0.20	0.40	3.40					19.40		高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館5階	急性期	回復期	C	37	37	急性期一般入院料 1	0.43								0.11		0.51	0.84				2.62	28.2	回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館4階	回復期	回復期		40	40	回復期別リハビリ病棟入院料 1																0.03		回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	ICU	高度急性期	高度急性期		6	6	ICU入院医療管理料 1	4.67	0.33	0.50					2.67	22.83	4.83	0.33					18.67		高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館7階	急性期	回復期	C	42	42	地域包括ケア病棟入院料 2															0.02	2.67	8.7	回復期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館6階	急性期	急性期		43	43	急性期一般入院料 1								0.02		0.53	0.09					5.05	38.4	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館4階	急性期	高度急性期		35	35	ICU入院医療管理料 1										0.03						22.00		高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	B館3階	高度急性期	高度急性期		35	35	急性期一般入院料 1				0.54						1.51	1.51					5.29	48.5	高度急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人財団明理会イムス富士見総合病院	A館5階	急性期	急性期		41	41	急性期一般入院料 1	0.46	0.15	0.15							1.90	0.90	0.15		0.15		7.98	27.7	急性期	
南西部	富士見市	病院	医療法人社団サンゼリ三浦病院	緩和ケア	慢性期	慢性期		59	58	緩和ケア病棟入院料 1												0.14				2.43	1.72	慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3A病棟	急性期	急性期		53	45	急性期一般入院料 4	0.22	0.13	0.07					0.02		2.56	0.73	0.13		0.24	7.82	25.4	急性期		
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3B病棟	慢性期	慢性期		45	43	療養病棟入院料 1											0.63	0.02				0.02		慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	3C病棟	急性期	慢性期		45	45	障害者施設等15対1入院基本料											0.82	0.04				0.27		慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	4A病棟	急性期	回復期	C	52	43	急性期一般入院料 4	0.63		0.09								0.98	0.84				0.02	2.28	21.3	回復期
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	2B病棟	急性期	急性期		58	43	急性期一般入院料 4			0.02								2.49	0.07				0.42	4.33	41.6	急性期
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人誠壽会上福岡総合病院	4B病棟	急性期	急性期		31	26	急性期一般入院料 4	0.12										0.42	1.08				2.15	0.15	20.2	急性期
南西部	ふじみ野市	病院	医療法人社団草芳会三芳野第2病院	一般病棟	急性期	回復期	C	45	45	急性期一般入院料 4											3.73						20.8	回復期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本5療養病棟	慢性期	慢性期		46	46	療養病棟入院料 1												0.02						慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	別2地域包括ケア病棟	慢性期	回復期		30	30	地域包括ケア病棟入院料 2															0.07			回復期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	3北療養病棟	慢性期	慢性期		28	28	療養病棟入院料 1												0.04						慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	新2療養病棟	慢性期	慢性期		39	39	療養病棟入院料 1											2.41	0.03				0.77		慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	本2障害者病棟	慢性期	慢性期		60	60	障害者施設等10対1入院基本料															22.53		0.07	慢性期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	別3回復期リハビリ病棟	回復期	回復期		29	29	回復期別リハビリ病棟入院料 2																		回復期	
南西部	ふじみ野市	病院	富家病院	3南特殊疾患病棟	慢性期	慢性期		29	29	特殊疾患病棟入院料 1																		慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館4階病棟(療養病棟)	慢性期	慢性期		48	48	療養病棟入院料 1								0.02				3.13						慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館5階病棟(特殊疾患病棟)	慢性期	慢性期		48	48	特殊疾患病棟入院料 1																		慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館6階病棟(療養病棟)	慢性期	慢性期		54	54	療養病棟入院料 1																		慢性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人財団明理会埼玉セントラル病院	本館7階病棟(回復期リハビリ病棟)	回復期	回復期		48																					

医療圏	市町村	区分	医療機関名	病棟名	令和3年7月1日時点の機能報告	定量基準分析結果	差異のパターン※	病床数(一般+療養)	最大使用病床数	「埼玉方式」で用いる項目																	定量基準分析結果	
										入院基本料・特定入院料	高度急性期・急性期の区分指標【区分線1】 ※基準を満たす項目を着色										急性期・回復期の区分指標【区分線2】 ※基準を満たす項目を着色							
											A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P		
											全身麻酔下手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	悪性腫瘍手術	超急性期脳卒中加算	脳血管内手術	経皮的冠動脈形成術	救急搬送診療料	救急医療に係る諸項目	重症患者の対応に係る諸項目	全身管理への対応に係る諸項目	手術	胸腔鏡・腹腔鏡下手術	放射線治療(レセプト枚数)	化学療法(日数)	予定外の救急医療入院の人数	一般病棟用の重症(敗血症・褥瘡)患者の割合		
										2.0	0.5	0.5	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.2	8.0	2.0	0.1	0.1	1.0	10.0	I:31% II:29%			
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	6階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 2								0.08	0.04	0.31	0.02			0.06	8.17	34.1	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	4階病棟	急性期	急性期		25	25	急性期一般入院料 2	0.48		0.16					0.04	0.04	2.92	0.68			0.16	11.08	45.0	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団明芳会イムス三芳総合病院	7階病棟	急性期	急性期		48	48	急性期一般入院料 2	0.73	0.42	0.13					0.02		2.90	1.40	0.42		0.69	10.04	52.1	急性期	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	2F	急性期	不明/休床		43	38	急性期一般入院料 5														1.00			不明/休床	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	3F	急性期	不明/休床		43	38	急性期一般入院料 5														1.00			不明/休床	
南西部	三芳町	病院	医療法人社団草芳会三芳野病院	4F	急性期	不明/休床		23	20	地域包括ケア入院医療管理料 4														0.95			不明/休床	
南西部	三芳町	病院	ふじみの救急病院	急性期病棟	急性期	不明/休床		19	19	地域一般入院料 2														6.13			不明/休床	
南西部	朝霞市	診療所	朝霞台駅前みなみ耳鼻咽喉科		急性期	高度急性期		3	3	有床診療所入院基本料	6.67										9.33							高度急性期
南西部	朝霞市	診療所	医療法人社団宏友会 栗原整形外科		急性期	不明/休床		2	0	有床診療所入院基本料																		不明/休床
南西部	志木市	診療所	志木呼吸器科クリニック		急性期	回復期	C	4	4	有床診療所入院基本料																		回復期
南西部	新座市	診療所	牧田産婦人科医院		急性期	急性期		5	5	有床診療所入院基本料											1.20							急性期
南西部	新座市	診療所	医療法人慶桜会大塚産婦人科小児科医院		急性期	急性期		19	19	有床診療所入院基本料											0.58	1.26						急性期
南西部	富士見市	診療所	医療法人美幸会栗原医院		急性期	回復期	C	19	10	有床診療所入院基本料											0.20							回復期
南西部	富士見市	診療所	医療法人根本外科整形外科		急性期	回復期	C	18	14	有床診療所入院基本料	1.57																	回復期
南西部	富士見市	診療所	にしじまクリニック		急性期	急性期		18	18	有床診療所入院基本料												2.67						急性期
南西部	富士見市	診療所	医療法人社団かいしん会ますなが医院		急性期	回復期	C	19	1	有床診療所入院基本料																		回復期
南西部	富士見市	診療所	みずほ台産婦人科		休棟中(今後再開)	不明/休床		5	0	入院料の届出なし																		不明/休床
南西部	ふじみ野市	診療所	ミュージスティッククリニック		急性期	急性期		1	1	有床診療所入院基本料																		急性期
南西部	ふじみ野市	診療所	医療法人久治会せきや眼科		急性期	不明/休床		12	12	入院料の届出なし												4.25						不明/休床

令和3年度病床機能報告結果・定量基準分析結果(2025年必要病床数との比較等)

(単位:床)

圏域	医療機能	令和3年度 報告結果 (A)	令和3年度 定量基準分析結果 (A')	R3.7.2以降 整備(予定)病床 (B)	A+B 報告ベース (C)	A'+B 定量基準分析ベース (C')	2025年 必要病床数 (D)	比較	
								C-D	C'-D
県計	高度急性期	6,219	5,041	318	6,537	5,359	5,528	1,009	△169
	急性期	24,765	19,248	948	25,713	20,196	17,954	7,759	2,242
	回復期	6,092	12,913	1,636	7,728	14,549	16,717	△8,989	△2,168
	慢性期	12,340	12,214	414	12,754	12,628	14,011	△1,257	△1,383
	休棟・未報告等 計	1,982	1,982	-	1,982	1,982	-	-	-
		51,398	51,398	3,316	54,714	54,714	54,210	504	504
南部	高度急性期	354	360	24	378	384	609	△231	△225
	急性期	2,786	1,944	15	2,801	1,959	1,922	879	37
	回復期	511	1,342	322	833	1,664	1,623	△790	41
	慢性期	835	840	54	889	894	871	18	23
	休棟・未報告等 計	39	39	-	39	39	-	-	-
		4,525	4,525	415	4,940	4,940	5,025	△85	△85
南西部	高度急性期	244	371	0	244	371	425	△181	△54
	急性期	2,706	1,745	9	2,715	1,754	1,685	1,030	69
	回復期	394	1,259	80	474	1,339	1,356	△882	△17
	慢性期	1,255	1,224	12	1,267	1,236	1,311	△44	△75
	休棟・未報告等 計	58	58	-	58	58	-	-	-
		4,657	4,657	101	4,758	4,758	4,777	△19	△19
東部	高度急性期	212	739	10	222	749	831	△609	△82
	急性期	4,530	3,172	192	4,722	3,364	2,783	1,939	581
	回復期	1,043	1,816	679	1,722	2,495	2,734	△1,012	△239
	慢性期	1,684	1,742	318	2,002	2,060	2,587	△585	△527
	休棟・未報告等 計	267	267	-	267	267	-	-	-
		7,736	7,736	1,199	8,935	8,935	8,935	0	0
さいたま	高度急性期	1,526	1,352	200	1,726	1,552	1,039	687	513
	急性期	3,350	2,734	606	3,956	3,340	2,770	1,186	570
	回復期	689	1,456	0	689	1,456	2,301	△1,612	△845
	慢性期	1,374	1,397	0	1,374	1,397	1,554	△180	△157
	休棟・未報告等 計	172	172	-	172	172	-	-	-
		7,111	7,111	806	7,917	7,917	7,664	253	253
県央	高度急性期	587	345	0	587	345	344	243	1
	急性期	1,645	1,529	8	1,653	1,537	1,273	380	264
	回復期	286	663	39	325	702	1,120	△795	△418
	慢性期	812	793	0	812	793	797	15	△4
	休棟・未報告等 計	106	106	-	106	106	-	-	-
		3,436	3,436	47	3,483	3,483	3,534	△51	△51
川越比企	高度急性期	1,726	777	0	1,726	777	802	924	△25
	急性期	2,192	2,345	36	2,228	2,381	2,260	△32	121
	回復期	1,074	1,890	93	1,167	1,983	2,518	△1,351	△535
	慢性期	1,960	1,940	10	1,970	1,950	2,072	△102	△122
	休棟・未報告等 計	301	301	-	301	301	-	-	-
		7,253	7,253	139	7,392	7,392	7,652	△260	△260
西部	高度急性期	815	439	84	899	523	694	205	△171
	急性期	3,033	2,488	82	3,115	2,570	2,249	866	321
	回復期	871	1,848	327	1,198	2,175	2,370	△1,172	△195
	慢性期	2,213	2,157	20	2,233	2,177	2,638	△405	△461
	休棟・未報告等 計	489	489	-	489	489	-	-	-
		7,421	7,421	513	7,934	7,934	7,951	△17	△17
利根	高度急性期	335	525	0	335	525	426	△91	99
	急性期	2,316	1,549	0	2,316	1,549	1,580	736	△31
	回復期	705	1,337	96	801	1,433	1,448	△647	△15
	慢性期	969	914	0	969	914	1,176	△207	△262
	休棟・未報告等 計	249	249	-	249	249	-	-	-
		4,574	4,574	96	4,670	4,670	4,630	40	40
北部	高度急性期	420	133	0	420	133	327	93	△194
	急性期	1,854	1,501	0	1,854	1,501	1,258	596	243
	回復期	393	1,064	0	393	1,064	1,066	△673	△2
	慢性期	1,001	970	0	1,001	970	791	210	179
	休棟・未報告等 計	207	207	-	207	207	-	-	-
		3,875	3,875	0	3,875	3,875	3,442	433	433
秩父	高度急性期	0	0	0	0	0	31	△31	△31
	急性期	353	241	0	353	241	174	179	67
	回復期	126	238	0	126	238	181	△55	57
	慢性期	237	237	0	237	237	214	23	23
	休棟・未報告等 計	94	94	-	94	94	-	-	-
		810	810	0	810	810	600	210	210

※(A)令和3年度報告結果には、「新型コロナウイルス感染症に係る病床設置の医療上の手続の取扱いについて」(令和2年4月10日医政発0410第15号)等に基づき、新型コロナウイルス感染症対策のために特例的に増床した病床数は含まれていない。

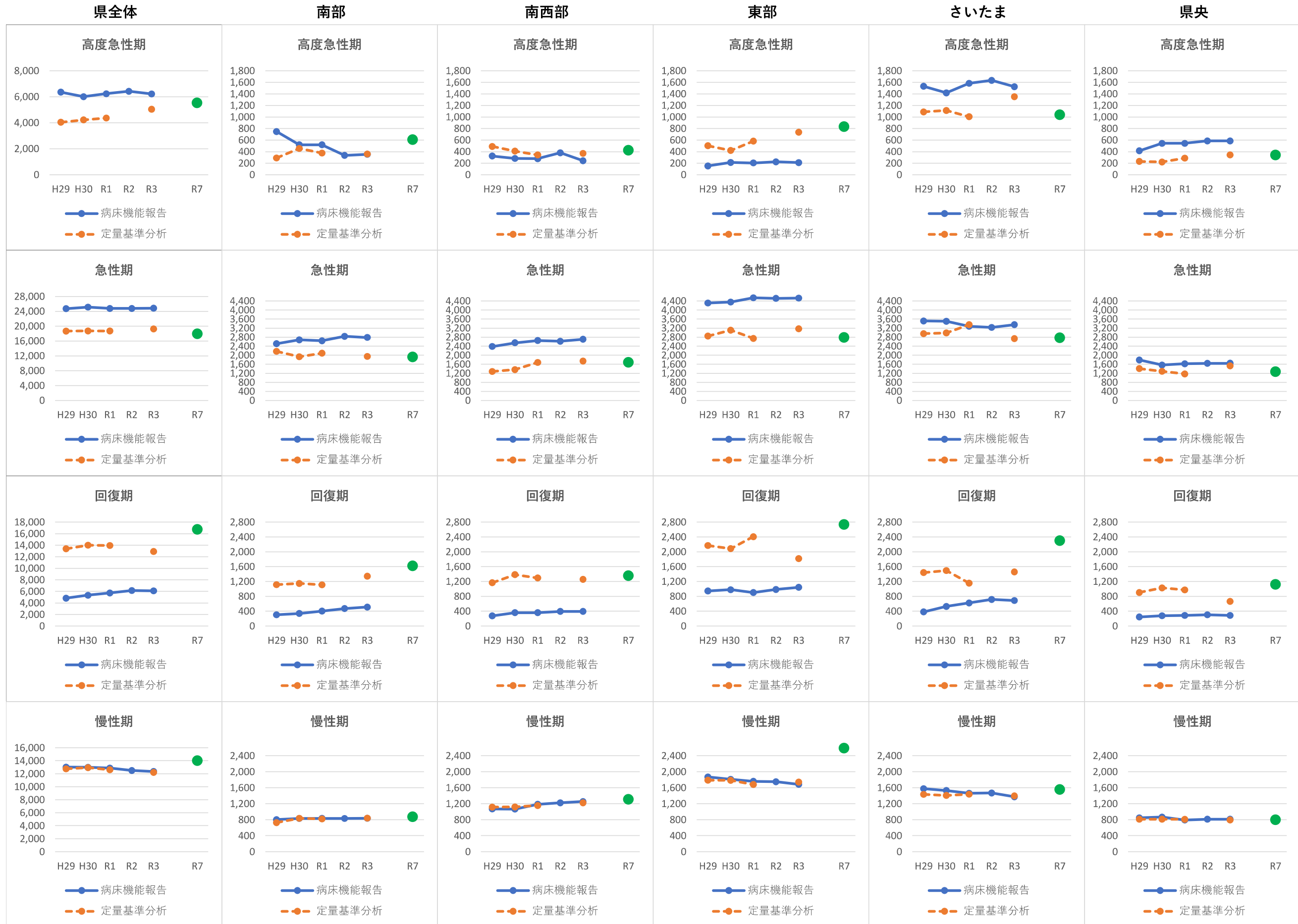
※「R3.7.2以降整備(予定)病床(B)」は、埼玉県地域保健医療計画(第6次及び第7次)に基づく病床整備の公募により整備を進めるものとされた病床のうち、R3.7.2以降に許可を受けて整備された病床及び未整備の病床の数

※「R3.7.2以降整備(予定)病床(B)」のうち、さいたま圏域に整備予定の「順天堂大学医学部附属埼玉国際先進センター(800床)」の医療機能が未定であるため、便宜的に高度急性期200床、急性期600床として計上。

※病床稼働率、平均在棟日数は、医療機関から報告された令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年間の在棟患者延べ数、新規入棟患者数、退棟患者数から便宜的に計算したものであり、正式な計算式ではない。(病棟の再編等により1年間分の報告が困難である旨の報告があった病棟については、報告可能な対象期間中の実績として報告された患者数から計算)

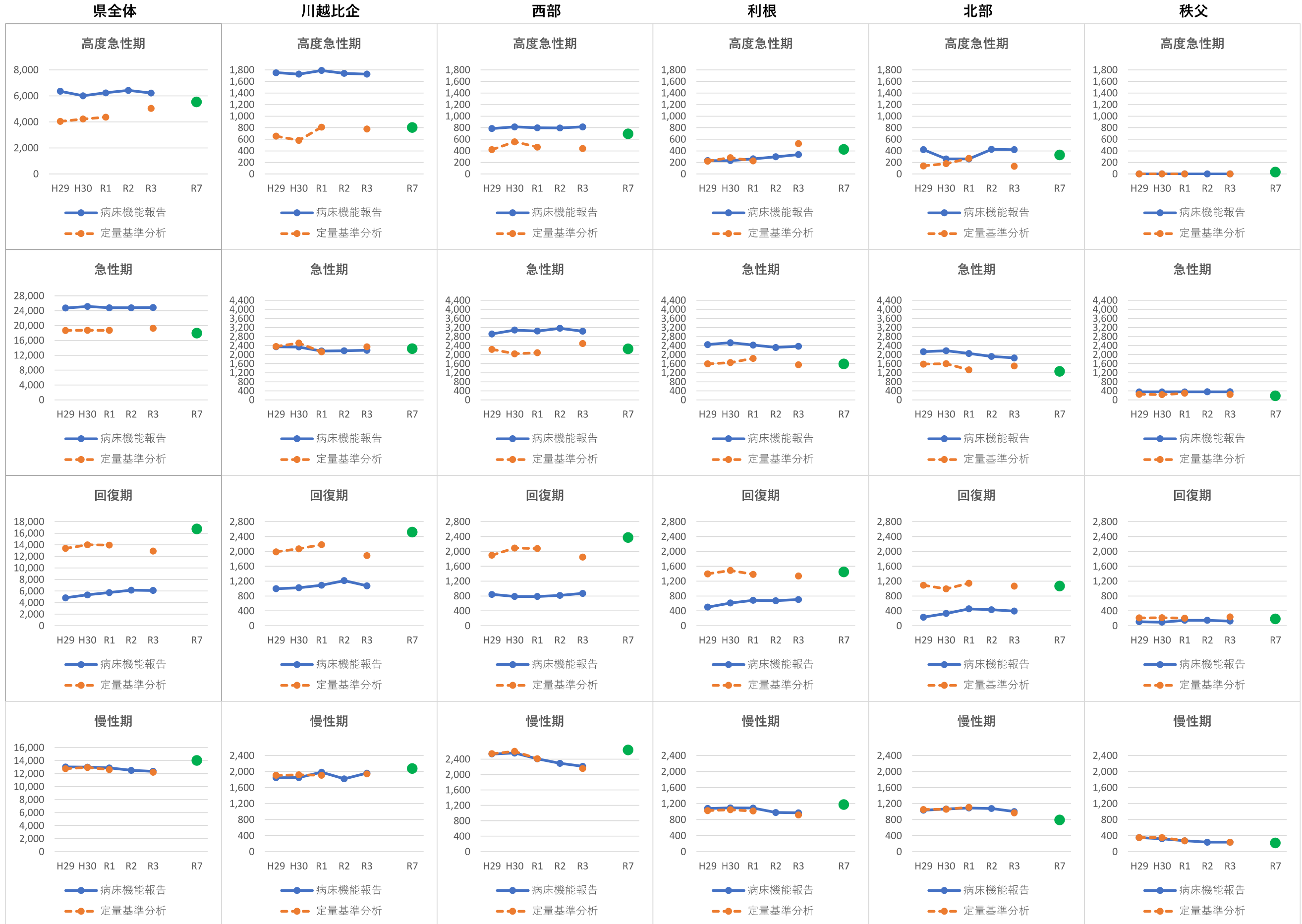
医療機能別病床数の年度別推移について

●は2025年の必要病床数



医療機能別病床数の年度別推移について

●は2025年の必要病床数



改正感染症法への対応

予防計画の策定・改定について

▶ 令和4年12月：感染症法が改正

【改正趣旨】

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症の発生及びまん延に備えるため、国又は都道府県及び関係機関の連携協力による、感染症発生・まん延時における保健・医療提供体制の整備などの措置を講ずるもの

予防計画の策定・改定

《保健所設置市は、県の予防計画に即して新たに予防計画の策定が必要》

連携協議会

- 「平時から県と関係機関との連携強化を図るため」及び「**予防計画の策定・改定を協議するため**」に設置
- 県、保健所設置市、医療関係者などが参画
- 予防計画の策定・改定に当たっては、保健所設置市以外の市町村の意見も聴取

感染症発生・まん延時に担うべき医療提供について

《医療機関等の医療提供義務》

- 医療機関等の「医療提供義務」の範囲は、「医療措置協定(流行初期医療確保措置(※)含む)」と同じ。
5つのメニューの中から、機能に応じて感染症発生・まん延時に医療提供を行う。
- 協定は、「医療措置協定」と「検査等措置協定」の2種類。

※ 医療措置協定における流行初期医療確保措置の主な措置内容

- ・流行初期から継続して対応にあたる。
- ・知事からの要請後原則1週間以内に、感染症に対応する病床を即応化又は発熱患者を診察する。

予防計画上の主要項目		医療提供体制の確保					検査体制の確保	宿泊療養体制の確保
目標達成のための担保		医療措置協定					検査等措置協定	
協定締結の協議対象者		医療機関					病原体等の検査を行っている機関等	
		病院	有床 診療所	無床 診療所	薬局	訪問看護 事業所	病原体等の検査を 行っている機関	宿泊施設
医療 協 定 措 置	①病床の確保	○	○	×	×	×	/	/
	②発熱外来の対応	○	○	○	×	×		
	③自宅療養者等への医療の提供	○	○	○	○	○		
	④後方支援	○	○	×	×	×		
	⑤人材派遣	○	○	×	×	×		
検査 等 協 定 措 置	①検体の採取	/					○	×
	②検体の検査						○	×
	③宿泊施設の確保						×	○

感染症発生・まん延時に担うべき医療提供について

《医療措置協定の具体的な内容》

協定締結の協議対象者		病院	有床診療所	無床診療所	薬局	訪問看護事業所
医療措置	①病床の確保	○	○	×	×	×
	②発熱外来の対応	○	○	○	×	×
	③自宅療養者等への医療の提供	○	○	○	○	○
	④後方支援	○	○	×	×	×
	⑤人材派遣	○	○	×	×	×

= 第一種協定指定医療機関
 = 第二種協定指定医療機関
 = その他

- 協定を締結した医療機関等は、講じる措置に応じて第一種・第二種協定指定医療機関のいずれかに指定される。
- 指定を受けた**管理者は、感染症発生・まん延時に協定に基づく措置を講じなければならない。**
- 協定の内容は公表する。

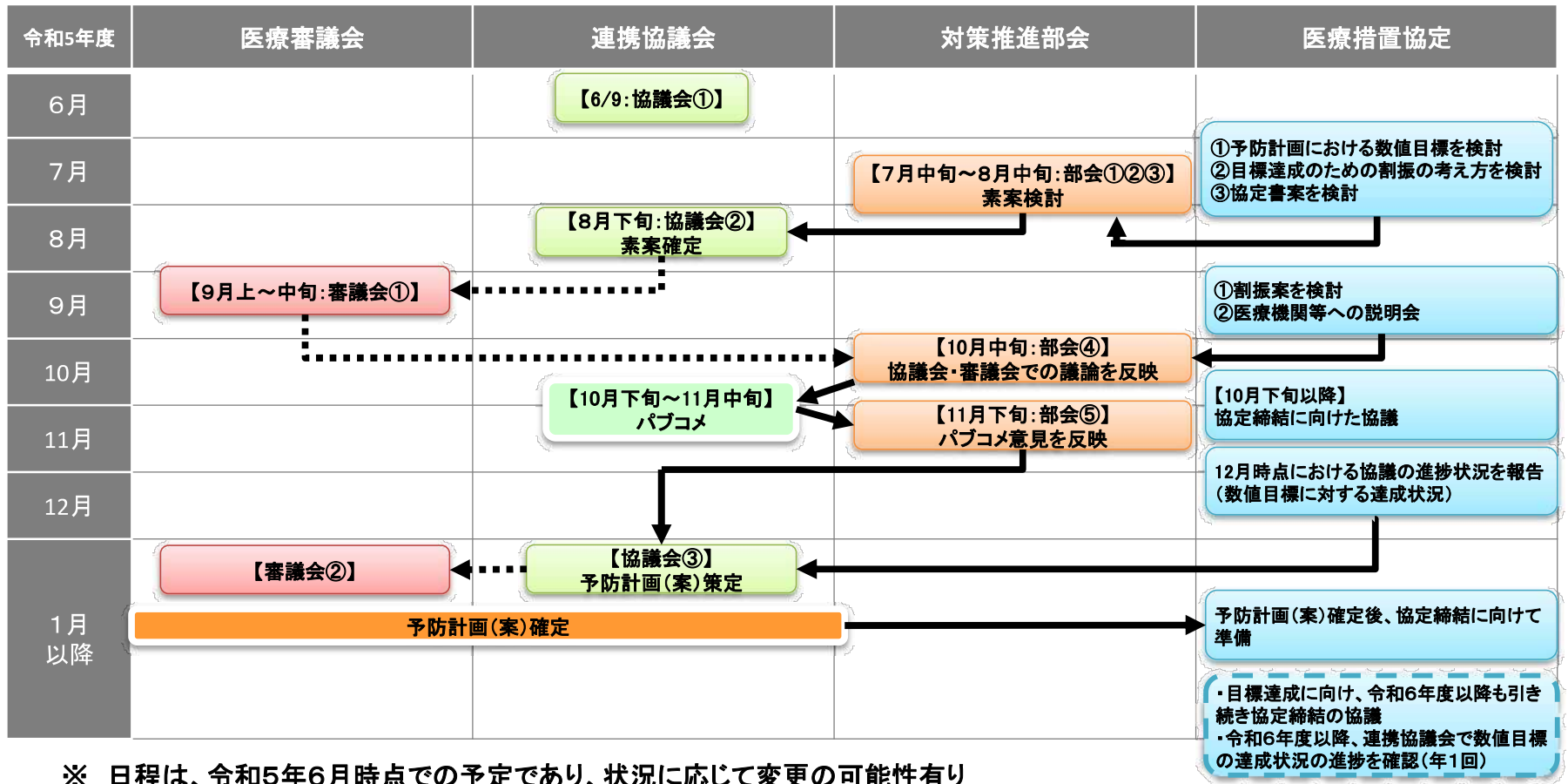
【参考】新たな感染症指定医療機関

	入院医療		外出自粛対象者の医療		一般の医療機関
	第一種感染症指定医療機関	第二種感染症指定医療機関	第一種協定指定医療機関	第二種協定指定医療機関	
一類感染症	○				
二類感染症	○	○			
三類～五類感染症					○
新型インフルエンザ等感染症 指定感染症	○	○	○	○	
新感染症(所見がある者)			○	○	

感染症指定医療機関に追加

予防計画において想定する感染症

感染症予防計画策定スケジュールについて



※ 日程は、令和5年6月時点での予定であり、状況に応じて変更の可能性有り